
団地妻 私は35歳

だからなに

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

団地妻 私は35歳

【Nコード】

N3072N

【作者名】

だからなに

【あらすじ】

夫に先立たれ、若くして一生懸命生きる一人の女性の人生
顔は綺麗、体も90 72 86とナイスバディ

これから迫りくる壮絶な人生の始まりから

どうなっていくかわからない展開に作者も四苦八苦

落ちていく人生か？それとも成功者となってしまうのか？

作者も考え中

さあごらんあれ

朝

ピヨ、ピヨピヨ

小鳥の声に気づいて私は目を冷ました。

あ、始めまして私は萬田涼子です

そう、この萬田涼子の壮絶な人生がこれから始まるうとしている。

朝起きた後まず一杯のCALPISを飲むのが習慣になっている、
「ゴキユ、ゴキユ、ブハツ」むせつた。

足元に飛び散ったCALPISをみて微笑んだ。

真新しいタオルで体を拭きながら台所へ行き朝食の準備をする。

不器用な私はいつも野菜サラダと一杯の牛乳、簡単だからという理由らしい。

「今日の朝食はーキュウリとトマトかな」
並べた野菜を見て微笑んだ。

食事も終わり、出かける準備を済ませた私はどこに出かけるかという
こと

仕事、しかも土木作業員、マジです

朝（後書き）

こんにちわん、はじめまして。

まずこの小説にところどころ出てくる「微笑んだ」というところはなにかを言いたいけれども、致し方なく省略して書きましたが前文を読んでその心情はご想像にお任せします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3072n/>

団地妻 私は35歳

2010年10月9日13時38分発行